ウォークラリー

１　ウォークラリーとは

　連続したコマ図を頼りに、グループごとに指定されたコースを歩き、課題を解決したり、景色を眺めたりして歩くゲームです。

２　ねらい

- 連続したコマ図だけを頼りに進むことで、決断力や判断力を育てる。また、グループでまとまって歩くことを通して協調性を高める。
- 街中を注意深く観察しながら歩くことで、普段は気づかない街角の風景を発見する。

３　計画・実施上の留意点

(1) 計画上の留意点（ウォークラリー実施計画表を御活用ください。）

- 研修時間、班の数、年齢層等を考えてコースを決定する。
- １グループの人数は６人以下が望ましい。
- **コマ図の見方について、活動参加者に事前に指導しておく。**
- 団体指導者の役割分担をあらかじめ決める。（③と④については、団体の判断で設けなくてもよい。）

　　①本部待機　　②巡回　　③帯同　　④チェックポイント

　※団体指導者は「サイクリング用自転車」を使用し移動することができる。

(2) 活動の流れ

① 団体指導者は、午前の活動の場合は午前８時 35 分、午後の活動の場合は午後０時 30 分に事務室で担当所員と実施判断を行い、コマ図、バインダー、解答用紙、地図（指導者用）、解答用紙（指導者用）を受け取る。
② 団体指導者は、研修生へルール・注意事項等の説明をする。
③ ５分～10 分ほど時間差をつけて、グループごとに出発する。
④ 巡回担当の団体指導者は巡回をする。本部担当の団体指導者は本所に待機し、ゴールする研修生を待つ。
⑤ 全グループがゴールした後は、成績発表、講評等の事後指導を行う。

(3) 活動上の注意点

① 緊急時の対応、連絡方法について
- 商店や近所の方に学校名と氏名を伝えて電話を借り、コマ図にある「焼津青少年の家」に連絡する。または、団体指導者の携帯電話番号を事前に教えておき、そこに連絡する。
- 急な大雨、あるいは雷が鳴ったら、近くの商店や建物に避難させる。
- 大きな地震が起きた時に、津波避難施設や津波避難タワーに避難することを事前指導しておく。

② 歩き方について
- グループのメンバーがバラバラになることがないよう、必ず一緒に行動するよう指導する。
- 交通事故に注意させる。絶対に走らないこと、飛び出さないこと、広がって歩かないこと、横断歩道を利用することなどを徹底させる。
- 一般道を歩くので、公衆道徳を守り近隣の方の迷惑になるようなことをしない、公共施設や樹木を傷つけないなどを徹底させる。
- 歩きながらコマ図は見ない。コマ図は、安全な場所で必ず立ち止まって見るように指導する。

４　方法とルール

- コマ図の指示する方向に進み、次のコマ図の地点を探す。
- コマ図とコマ図の間にも分岐がある。距離も一定ではないが、次のコマ図の地点までは無視して進む。
- 課題のあるコースでは、協力して課題を解決しながら歩く。
- 規定時間内に歩く。（規定時間は下記の所要時間、距離を参考に団体指導者が設定する。）
- 出発はグループごと時間差をつける。（グループ数に合わせて間隔を調整する。）

５　各コースの距離と所要時間

<table>
<tr><th>コース名</th><th>距離</th><th>所要時間（目安）※</th><th>コース難易度</th><th>問題の設定の有無</th><th>ポイント数</th></tr>
<tr><td>あじーいわしコース</td><td>3.0ｋｍ</td><td>１～1.5時間</td><td rowspan="3">広くわかりやすい道を多く通る</td><td rowspan="3">大漁ハイクのポイントを使用</td><td>５</td></tr>
<tr><td>かつおーかもめコース
さばーまだいコース</td><td>4.0ｋｍ</td><td>1.5～２時間</td><td>５</td></tr>
<tr><td>まぐろーくじらコース
かじきーいるかコース</td><td>6.5ｋｍ</td><td>2.5時間</td><td>９</td></tr>
<tr><td>Ａ－Ｂ，Ｃ－Ｄコース</td><td>2.5ｋｍ</td><td>１～1.5時間</td><td rowspan="3">細い路地を通るためやや難しい</td><td colspan="2">途中に問題設定あり</td></tr>
<tr><td>Ｇ－Ｈコース</td><td>6.0ｋｍ</td><td>２～2.5時間</td><td colspan="2" rowspan="2">問題設定なし</td></tr>
<tr><td>Ｉ－Ｊコース</td><td>1.5ｋｍ</td><td>0.5～１時間</td></tr>
</table>

※　所要時間はあくまでも目安です。研修生の実態により若干の違いがあります。

次ページから、かつおコースの「解答用紙」「コマ図」「指導者用マップ」を参考に載せてありますので、研修生への事前指導にお使いください。

ウォークラリー解答用紙
＜かつお＞コース

グループ名 | | スタート　　時　　分

コマ番号	ポイント番号	魚の名前	ポイント発見のためのヒント	得点
4	⑤		道ぞいの金あみ（うっかり通りすぎ注意）	
9	⑦		電子基準点（大きなマイクみたいな形の機械）のそば	
12	⑥		門のすぐ横	
19	③		大きな石碑の近く	
27	①		納札所（古いお札を納める所）	

ゴール　　時　　分

① まわりをよく見て、そのコマと同じ場所に着いたら、矢印の指示に従って進みます。
② コマとコマの間は、曲がったりしないで、その道をまっすぐ進みます。
③ コマとコマの間は同じではありません。すぐ近いときも、ものすごく長いときもあります。
④ 分からなくなったら、まちがいない前のコマの場所までもどって、やり直します。
⑤ コマ図では道の真ん中を示していますが、道路は右側、または歩道を必ず歩きます。
⑥ 交通ルールを必ず守りましょう。道路を渡るときは信号があれば信号を守り、横断歩道を渡ります。
⑦ 急な飛び出しや大声で話したりすることは、まわりの人に迷惑になります。
⑧ こまったことが起きたら、近くにいる大人の人にたのんで「焼津青少年の家」に電話をします。
⑨ 地震が起きたときには、すぐに近くの3階だて以上の高い建物に避難します。
コマ図の中の★印がひなん場所です。まわりの大人と一緒に避難しましょう。

静岡県立焼津青少年の家　TEL054-624-4675

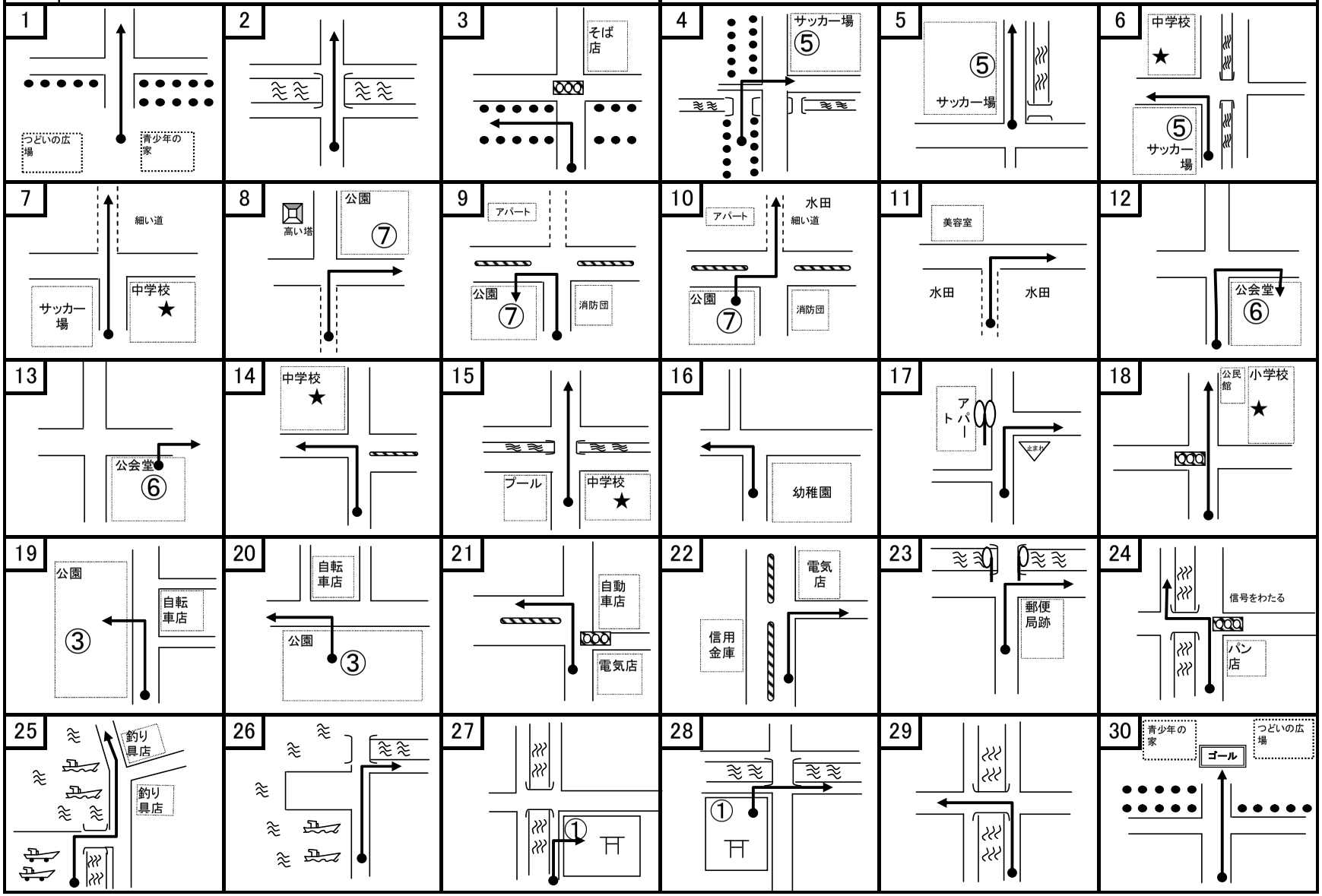
ウォークラリー　かつおコース　焼津青少年の家　054-624-4675

H30.4

チェックポイント　⑤⑦⑥③①には、大漁ポイントがあります。木札を見つけて、うらに書いてある魚の名前を写して来ましょう。

● 今いる場所　⛩ 神社　信号のある交差点　カーブミラー

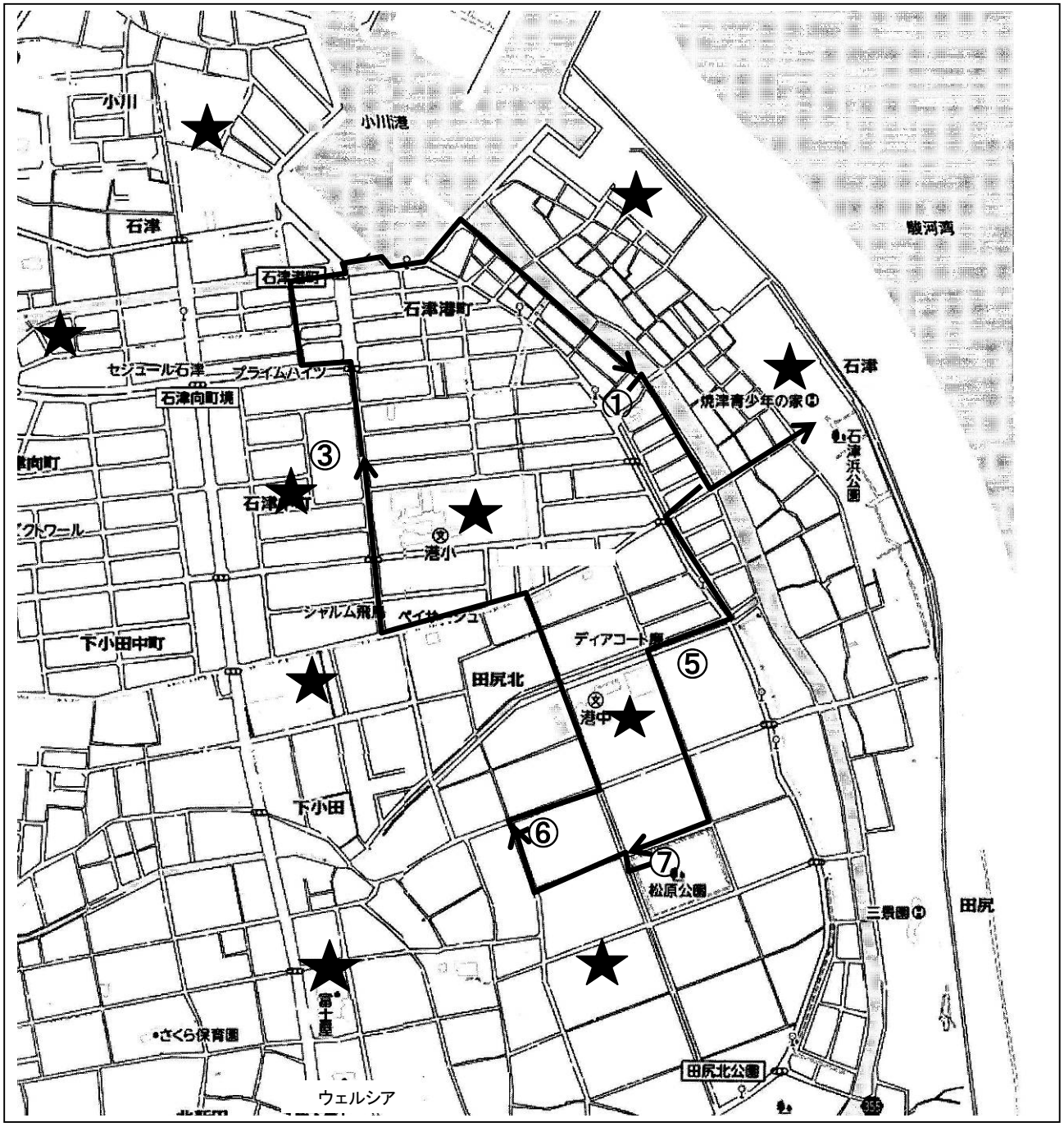
→ 進む方向　●●●●● 松並木　★ ひなん場所　≋≋ 川、用水路



ウォークラリー　かつお（4㎞）指導者用

チェックポイント（大漁ポイント）5カ所

○ 交通ルールを守りましょう。道路は右側または歩道を歩きます。横断歩道を渡ります。
○ 飛び出しをしないように気をつけましょう。車には十分気をつけましょう。
○ 地震が起きたら、★印の場所にひなんしましょう。



静岡県立焼津青少年の家　　TEL054-624-4675

H31.3

ウォークラリー実施計画表　静岡県立焼津青少年の家

団体名					
担当者氏名					
実施予定日	年　　月　　日（　　）				
参加者人数	研修生	人　（　　）グループ		団体指導者	人
スタート時刻※	一番最初のグループ	：	一番最後のグループ	：	

※ 前後のグループでは、５～１０分ほど時間差をつけてスタートとなります。

１　実施予定コース

コース名	グループ数
例　　かつお	例　　４グループ

２　団体指導者の配置　※人数や配置は、各団体で決めてください。

役割	団体指導者氏名		
①本部待機			
②巡回 ※所の自転車を借りて行うことができます。			
③帯同 ※団体の判断で設けなくてもよい。			
④チェックポイント ※団体の判断で設けなくてもよい。			

３　安全体制チェックポイント（確認・実施したものには〇をつけてください）

１．下見を行った。	
２．コマ図の見方について、研修生に事前に指導した。	
３．事故や怪我、迷ったときなどの緊急時の対応方法を決め、事前に指導した。	
４．活動中の歩き方をはじめ、交通事故防止のための安全指導を行った。	
５．団体指導者間の役割分担が明確になっている。	

※ 未確認、未実施の項目については、当日までに必ず確認、実施してください。